

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ヴィクトリアマイルはグランアレグリアが優勝

5月16日(日)に行われたヴィクトリアマイル(G I)では、単勝オッズ1.3倍の断然人気に支持されたグランアレグリア(牝5歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が優勝、桜花賞、安田記念、スプリンターズS、マイルチャンピオンシップに続く5つ目のG Iタイトルを手に入れました。

●幸英明騎手がJRA通算1500勝を達成

5月16日(日)の3回中京4日・第2レースではタイスケフェイスが1着となり、同馬に騎乗した幸英明騎手(栗東・フリー)は、史上18人目、現役では8人目となるJRA通算1500勝(2万1296戦目)を達成しました。

●C.ルメール騎手がJRA通算1400勝を達成

5月16日(日)の2回東京8日・第9レースとして行われたテレ玉杯ではゴルトベルクが1着となり、同馬に騎乗したクリストフルメール騎手(栗東・フリー)は、史上22人目、現役では9人目となるJRA通算1400勝を達成しました。6650戦目での1400勝達成は、史上最少騎乗回数での達成となります。

●三津谷隼人騎手が引退

三津谷隼人騎手(栗東・川村禎彦厩舎)は、5月20日(木)をもって騎手を引退しました。JRA通算成績は1100戦24勝で、5月15日(土)の京都ハイジャンプ(J・G II)では1着となり、最後の騎乗を重賞初制覇で飾りました。今後は川村禎彦厩舎で調教助手となる予定です。

●ディーブインパクト産駒が史上最速で2400勝を達成

5月15日(土)の2回東京7日・第5レースではシテフローラルが1着となり、ディーブインパクト産駒のJRA通算勝利数が2400勝となりました。これはJRA史上2頭目の記録で、産駒初出走の日から数えて10年10か月26日での2400勝達成は、サンデーサイレンス産駒の11年7か月26日を上回る史上最速記録となります。

●リオンリオンとトウショウドラフタの競走馬登録抹消

2019年テレビ東京杯青葉賞(G II)などの勝ち馬リオンリオン(牡5歳/栗東・松永幹夫厩舎/JRA通算10戦4勝)と、2016年中日スポーツ賞ファルコンS(G III)の勝ち馬トウショウドラフタ(牡8歳/美浦・菅野浩二厩舎/JRA通算36戦5勝)は、4月17日(土)までに競走馬登録を抹消されました。リオンリオンは種牡馬となる予定ですが繋養先は未定、トウショウドラフタは地方・金沢競馬へ移籍しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●駿蹄賞はJRA出身のトミケンシャイリ【各地の主要3歳重賞】

駿蹄賞(5月4日、名古屋、1800^円)は、先手を取った2番人気のトミケンシャイリ(牡、父ブラックタイド)が、単勝1.3倍で圧倒的人気の重賞3勝馬ブンブンマルの追撃を1馬身差で振り切り、JRA(2戦未勝利)から愛知に移籍後5連勝を達成。黒潮皇月賞(5月2日、高知、1400^円)は、5番手から4コーナー手前で先頭に立ったハルノインパクト(牡、父ヴァンセンヌ)が2馬身差の完勝を収め、単勝1.4倍の支持に応じて重賞3勝目をあげました。新設の若潮スプリント(5月3日、船橋、1200^円)は、単勝1.9倍で1番人気のファイナルキング(牡、父サウスヴィグラス)が後続を $\frac{3}{4}$ 馬身抑えて逃げ切り勝ち。東京湾C(5月4日、船橋、1700^円)は、5番手前後から差を詰めた1番人気のギガキング(牡、父キングヘイロー)が残り200^円地点の手前で抜け出して5馬身差で圧勝、北海道に在籍していた2歳時の南部駒賞(盛岡)以来となる重賞制覇を果たしています。

●リュウノユキナらが出走、5月27日の北海道スプリントC(門別)

北海道スプリントC(Jpn III、5月27日、門別、1200^円)は、東京スプリントからの重賞連勝を狙うリュウノユキナが中心、以下スマートアルタイム、ヒロシゲゴールド、スマートアヴァロン(北海道)、サンライズカラマの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ブリークネスS〜フランスゴデイナは7着

5月15日に米国メリーランド州のビムリコ競馬場で行われたG1ブリークネスS(3歳、ダート1900^米)は10頭立ての6番手でレースを進めたロンパウアー(牡、父トワーリングキャンディ)が直線半ばで先頭に立つと、G1ケンタッキーダービー6着馬ミッドナイトバーボンに3馬身半差をつけて優勝しました。ケンタッキーダービー馬メディーナスピリットは逃げて3着。日本から遠征したフランスゴデイナは7着に終わりました。勝ったロンパウアーはこれが重賞初制覇。前走のG2ブルーグラスSは3着でした。F.ブラ騎手、M.マッカーシー調教師はともにブリークネスS初制覇です。

●G1仏2000ギニー〜セントマークスバシリカが快勝

フランスのパリロンシャン競馬場で5月16日に行われた、G1仏2000ギニー(3歳牡、芝1600^米)はアイルランドからの遠征馬セントマークスバシリカ(父シユーニ、愛A.オブライエン厩舎)がI.メンディザバル騎手を背に中団待機から直線で一気に突き抜けて1馬身 $\frac{3}{4}$ 差で優勝。昨年10月の英G1デューハーストS(芝1400^米)に続くG1連勝となりました。